

平成12年12月1日

発行

神戸町体育指導委員協議会

神戸町教育委員会

# 遊!!すばーつ

millennium 2000

## 大きく育て!! ごうどっ子

### 特集

特集 第3弾「神戸コミュニティ・スポーツクラブ」構築  
子どもたちにとって「総合型地域スポーツクラブ」とは?

多くの感動を与えてくれたシドニー・オリンピック。まさに20世紀をしめくくるにふさわしいスポーツの祭典でした。高橋尚子選手の大活躍などで、きっとスポーツのすばらしさを再認識された方も多いかったのではないでしょうか?

今回は、21世紀を担う子どもたちにとって「総合型地域スポーツクラブ」がどれだけ大きな役割を果たせるかを考えました。高橋選手のような素敵なお笑顔があちらこちらで見られる町、そんな町作りにあなたも参加してみませんか?

#### ◎ 今子どもたちは?

現在の日本では、青少年の凶悪犯罪等が社会問題になっています。なぜ、このような事態になってしまったのでしょうか?

その一つの大きな要因に、地域社会での大人と子どものつながりが弱くなってしまったということがあげられています。これは、言いかえれば、それぞれの家庭が閉鎖的になり、地域社会に向かって開かれていないということです。もし「自分の子(孫)は大切だが、よその子は関係ない。」といった考え方で育てられたら、子どもはどんな大人になっていくのでしょうか? 考えただけで恐ろしくなります。

多くの人が、一人ひとりの子どもをしっかりと見つめ、大切に育てている地域社会になれば、現在の問題は大きく解決の方向に向かうのではないかでしょうか?



スポーツ少年団本部役員との打ち合わせ会

#### ◎ 子どもたちと関わろう!!

学校には、2002年より完全に週5日制になります。ということは、子どもたちが、家庭や地域社会で過ごす時間が増えることになるのです。

この機会に、地域社会で大人と子どもが日常的にふれあう場を作り出すことが大切になってきます。そこで、「総合型地域スポーツクラブ」は、大きな役割を果たすことになるはずです。

例えば、家族ぐるみで軽スポーツ大会に参加して他の家族と交流の場を持ったり、子どもたちのスポーツ指導を近所のおじさん・おばさんがしていたり、子どもとお年寄りが試合をしてたり等々、考えてみれば、様々な場面が思い浮かんできます。

幸い神戸町には、すばらしい伝統と実績を持つ「スポーツ少年団」があります。子どもたちのよりよい成長を願って生まれた組織です。私たち体育指導委員協議会では、この「スポーツ少年団」組織が、「神戸コミュニティ・スポーツクラブ(神戸町の総合型地域スポーツクラブの仮称)」という枠組みの中で一つの核として機能した場合、子どもだけでなく大人にとっても、かつてないすばらしいスポーツシーンが実現するものと考えています。



スポーツすると笑顔が自然に生まれる

#### ◎ 町ぐるみで子どもたちの将来を考えよう!!

神戸町は一つの中学校区の町です。これは「総合型地域スポーツクラブ」は実現するためには、理想的な規模であるといわれています。

中学校や小学校の協力も含め、町内のあらゆる組織・団体が「神戸コミュニティ・スポーツクラブ」の結成に向けて一つにまとまつたとき、子どもたちの、そして神戸町の将来は、今以上に大きく開けてくるはずです。



スポーツ少年団プレスボクラブの活動より

#### ◎ 体指、先進地視察へ

私たち体指は、12月2・3日に「総合型地域スポーツクラブ」の先進地、富山県福野町へ視察に出掛け、勉強してきます。また、この誌面で、視察内容をご報告する予定です。

# スポレクフェスティバル2000 10月8日(日)開催

“どんとこいまつり”の一環として、町民体育館全館とその周辺を会場に開催されました。1階では、ラージボール卓球、ニチレクボール、こどもコーナー（輪投げ、的当て、巨大ボール）。2階では、ソフトバレーボール、インディアカ、フリースロー。屋外では、スピードガンコンテスト、R Dチャレンジ（ディスクゴルフでの的抜き）、エイトループ。これらの種目を体験することを重視した軽スポーツのお祭りに、子どもからおとなまで約300名のかたが参加されました。スタンプラリーで種目を体験したらカードにスタンプ。タテ・ヨコ・ナナメのbingoを目標に、次々に種目に挑戦していました。各会場では、私たち体指と体育協会役員のかたの協力で、ルール説明・審判等をさせていただきました。どの種目でも、参加者はスポレクならではの笑顔と和やかな雰囲気で、スポーツの秋を満喫していました。（番）



## 第4回パターゴルフ大会

梅雨の中、雨天順延により、6月25日に変更になったものの、受付数分後には、またしても小雨が降りだし、スタート時間を遅らせての開会式となりました。団体11チーム、個人34名の参加があり、降り続く雨にもかかわらず、誰ひとりとして途中棄権されるかたもなく、やる気満々で各ホール元気よくプレーされました。

体指も参加させてもらい、一緒に回ったかたにコースの攻略法を教えていただき、楽しくプレーさせてもらいました。雨が強くなると用意されたレインコートを着る人や、かまわず続けられる人、右手に傘・左手にパターと悲戦苦闘、それでもなんと箕浦さん4番ホールでホールインワンの快挙！さすがでした。

あいにくの天候でしたが無事に大会が終了。表彰式には雨も上がり、入賞者や飛び賞を発表／個人の部で見事？ホタル賞（最下位）は体指の尾方さん／最後まで大盛り上がりで大会の幕を閉じました。（西中）

成績は以下のとおりです。（敬称略）

【団体】優勝 銀治屋熟年会  
準優勝 芝政グループ  
3位 サカエアンダーズA

### 【個人】

優勝 赤井松太郎  
準優勝 飯沼ふくよ  
3位 高橋治一

【ホールインワン賞】  
箕浦宏次（4番ホール）

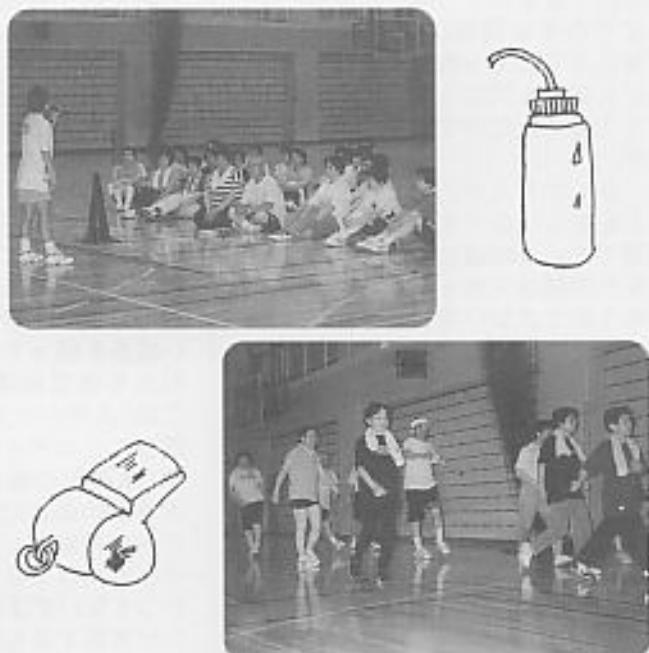


## ウォーキング教室を開催！

8月4・11日の2回コースで、町民体育館を会場に開催されました。高校生から高齢者まで、幅広い年代層から約45名の参加がありました。ウォーキングの理論と実技を学びました。

参加者は、講師の楽しいお話を、リズムに合わせて前歩き・横歩き・後ろ歩きなど変化を加えて、長い間楽しく歩くための様々な工夫を学びました。こまめに脈拍を計測し、体の調子の変化を実感して、無理のない適度な運動を楽しみました。

（五十川）



## 第3回グラウンドゴルフ大会 9月3日(日)開催

西座倉バターゴルフ場において、第3回バターゴルフ大会が開催されました。初秋を思わせる気持ちの良い風が吹き、周りをとんぼが飛び回るという神戸町にもこんなすばらしい環境があるんだなと、感心しつつ参加者とともにプレーをしました。

バターゴルフ場を挟み北と南にそれぞれ8ホールずつ、全部で16ホールのコースを、芝生や通路を乗り越えて「トマリ」(ゴルフで言うカップ)に入ったときは、思わずガッツポーズを取ってしまいます。参加者70名はそれぞれ楽しんでプレーをしてみました。親しい仲間と一緒に遊べて日頃の運動不足解消にぜひあなたも参加しませんか。  
(山川)



### 【成績】(敬称略)

優勝 中村 悅

準優勝 曰井 敏雄

3位 岡村ふ志子

### 【ホールインワン賞】

五十川善一、若山年子、中村悦、小倉佐和子、吉田利一、林治朗、曰井敏雄、飯沼静子、竹中和子、福田すみ子、田代雪子



定期的に活動されているみなさんが仲間を募集しています。

興味のあるかたは参加してみませんか?

問い合わせ先: スポレク協会

グラウンドゴルフ部会

馬渕忠男 (27-3911)

総合型地域スポーツクラブ支援事業 10月28~29日

## 『コーディネーター養成研修会』に参加!

長良川スポーツプラザにて開催された、総合型地域スポーツクラブ育成の支援事業「コーディネーター養成講習会」に4名の体指が参加しました。

1日目は、生涯スポーツの現状について、県教育委員会生涯スポーツ担当の黒田先生から説明があり、その後欧州・半田市の総合型地域スポーツクラブのVTRを視聴し、愛知学泉大学中島先生の講演「コミュニティーに期待する」～コミュニティースポーツのこれからの方針～という内容の講義を受けました。

2日目は、三重大学の水上先生による講話「総合型地域スポーツクラブへの理解」と題して、クラブづくりの仕掛け人（コーディネーターの役割）について、具体例をあげながらわかりやすく話していただきました。

事例発表は、平成11年度から3年間文部省の指定を受けて取り組みを進めている岐阜市の体指であり、クラブの理事長でもある松尾氏から精華スポーツクラブの『設立と運営にかかわって』と題して、クラブ設立までの経緯が話されました。また、平成10年度から2年間県の指定を受けた洞戸村の体指、長屋氏から『キウイスポーツクラブ』の現状と課題について話されました。

その後、5分科会に分かれ、それぞれのテーマでグループ討議を行いました。各分科会とも、50分では足りないほど話が盛り上がりいました。

各地でクラブ運営に係わる現場のかたから「ナマの声」を聞くことができ、大変充実した研修会でした。今後、神戸町の現状と比較し、研究を進めていきたいと感じました。  
(河瀬)



# 第41回全国体指研究協議会に参加して

11月1～2日、高知県民体育館にて開催された全国大会に参加させていただきました。

開会式、功労者表彰式に続き文部省体育局生涯スポーツ課長の「総合型地域スポーツクラブの全国展開と体育指導委員への大きな期待」と題した講演がありました。そのなかで、「これまでのスポーツ活動は学校が中心だった。卒業するとスポーツを楽しむ機会を喪失している。継続してスポーツを楽しめる場が総合型地域スポーツクラブ。体指にはその設立の中心になってほしい」と話され、国民の誰もが生涯にわたり、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツを楽しむことができ、成人的週1回以上のスポーツ実施率が50%になることを目指すスポーツ振興計画の説明がありました。その後、シドニーオリンピック金メダリストの田村亮子さんが「柔道に懸ける青春」と題して講演されました。

2日目は、「21世紀に向けたスポーツ振興」についてのシンポジウムがあり「子どもをおとなに、おとなを子どもにさせる両面を持つのがスポーツであり、21世紀は忘れた物を取り戻す時代である」と話がありました。その後、実践発表・研究討議が行われ終了。今回勉強した「スポーツを通じた地域づくりのあり方」を、今後の活動に活かしていきたいです。  
(西中)



## 平成12年6月～11月の活動報告

5月	総合型地域スポーツクラブ推進部会 体育推進員（実技）研修会 第4回バターゴルフ大会※
7月	総合型地域スポーツクラブ推進部会 西濃地区スポーツ活動指導者講習会（墨俣町）
8月	ウォーキング教室（2回コース）※ 総合型地域スポーツクラブ推進部会 1年生町議員との総合型地域スポーツクラブについての勉強会
9月	総合型地域スポーツクラブ推進部会 第3回グラウンドゴルフ大会
10月	スポレクフェスティバル2000※ 地域スポーツクラブ指導者研修会（大野町） 広報部会 体育協会・スポーツ少年団役員との総合型地域スポーツクラブについての勉強会 総合型地域スポーツクラブコーディネーター養成研修会※
11月	全国体育指導研究大会（高知県）※ 西濃地区（後期）体育指導委員研修会（安八町）

※印は関連記事を掲載しています。

## 平成12年12月～13年5月の活動予定

12月	先進地視察（富山県福野町・福光町）
1月	
2月	安八郡体育指導委員（後期）研修会（大垣市） 東海四県体育指導委員研究大会（伊勢市） 県体育指導委員研究大会（閔市） 第2次スポーツ教室（ラージボール卓球）
3月	体育推進員（後期）研修会
4月	体育推進員研修会
5月	安八郡体育指導委員（前期）研修会

## 健康ひとつくちメモ

### なぜ毎日のバランスが大切なの？

人間は126歳まで生きられるといいます。

脳細胞は150億個あり、26歳を過ぎると1日11万個も壊されて行きます。

肝臓・腎臓は2,500億個の細胞があり、1ヶ月で90パーセント入れ替わります。血液は、100日に入れ替わり、骨は2年半で入れ替わります。

人の身体は絶えず入れ替わっています。毎日3度の食事がいかに大切か分かりますよね。

あとは、生涯・向学心・向上心・信念があれば、「126歳まで生きること」は夢ではないということです。

### 編 集 後 記

『金がいいですか！』が話題になった、2000年シドニーオリンピックも幕を閉じ、「がんばれ日本！」と応援した見るスポーツも忙しく、寝不足が続いたのではないか？メダルの数ばかり注目されがちですが、勝ち負けではなく完全燃焼した選手たちの表情はすてきですね。

『私たちも運動しなくっちゃ』と、気負わず生活の中に自然に取り入れ、無理なく、継続できる運動を始めましょう！

もう一度、1ページをご覧になって、総合型地域スポーツクラブにご理解・ご協力をお願いします。  
(W)

運動をして、汗をかいたら  
あたたまる。

